

## 熱容量面からの対策工事に係る系統マッピング（154kV・77kV 系統）

2015年7月末時点までの事前相談および接続検討の結果、熱容量面での送電容量の不足による対策工事の可能性がある地域を以下に示します。

※赤色および黄色で示した地域に新たな発電機連系を行う場合、154kV・77kV 系統の特別高圧系統の対策工事が必要となる可能性があることを意味します。

ただし、今後の需要動向等によって系統状況は変化しますので、**最新の系統状況については、事前相談(無料)によりお問合せいただくことをお勧めします。**

※赤色および黄色で示されていない地域は、以下の①～③が含まれます。したがって、**これらの地域において対策工事が発生しないことを保証するものではありません。**また、②、③の場合でも、その後の電源連系申込み、需要動向等により制約が発生する可能性があります。

- ①2015年7月末までに事前相談・接続検討がなかった地域
- ②事前相談・接続検討の結果、対策工事が発生しなかった地域
- ③熱容量面での連系可能量が1万kW以上あった地域

※なお、熱容量面以外(短絡容量等)による特別高圧系統の対策工事や、高圧系統での対策工事等(バンク逆潮流対策工事を含みます)が発生する可能性がありますので、**系統連系の前には別途、接続検討による詳細検討(有料)が必要になります。**

<お問い合わせ窓口>

- ・お問い合わせ窓口は[こちら](#)
- ・高圧・特別高圧の場合で、当社以外への売電をご希望される場合は[こちら](#)

